

第2期九州創生アクションプラン策定
に向けた検討状況(中間報告)

【 I . しごとづくりPT 】



PTリーダー：小川福岡県知事、麻生九経連会長
サブリーダー：藤永九商連会長

～魅力的なしごと・働き方～

1 基本方針	九州・山口が持続的な成長を実現するため、地域が持つ強みを活かし、魅力あるしごとの場を創出するとともに、誰もが働きやすく生産性の高い職場環境をつくる。
2 目指す成果	雇用創出者数(純増)
3 基本施策	4 プロジェクト
①農林水産物の輸出拡大	・ 海外における九州・山口県産農林水産物のブランドづくりプロジェクト
②インバウンド対策の推進	【新】「KYUSHU」のブランド力向上プロジェクト 【新】外国人観光客の受入に係る人的基盤整備プロジェクト ・ 外国人観光客の来訪促進プロジェクト 【新】外国人観光客の滞在・消費促進プロジェクト
③創業・事業承継の推進	※【新】事業承継円滑化プロジェクト ・ 九州・山口発ベンチャー支援プラットフォーム構築プロジェクト
④働き方改革の推進	・ 九州・山口働き方改革推進プロジェクト(女性が働きやすい仕事環境)
⑤Society5.0の実現	※【新】第4次産業革命技術活用推進プロジェクト
⑥九州ロゴマークの活用推進	・ 九州のロゴマーク活用推進プロジェクト

5 新規・重点プロジェクト

事業承継円滑化プロジェクト

<基本施策③ 創業・事業承継の推進>

K P I (重要業績評価指標)

検討中

第4次産業革命技術活用推進プロジェクト

<基本施策⑤ Society5.0の実現>

K P I (重要業績評価指標)

第4次産業革命技術活用新規事業数

(現 状: 0件)

(5年後の目標: 調整中)

事業概要

【目的】

各県の「事業承継ネットワーク」の機能を向上させ、円滑な事業承継を促進する。

【5年間の主な取組】

- 各県独自の取組み(事業承継に関する周知方法、事業承継診断方法、事業承継計画策定支援の方法)や効果的な取組みを集約し、情報共有。
- 毎年10月から贈与税猶予の認定申請が始まるため、8月、9月(予定)を事業承継支援の「集中実施期間」とし、各県事業承継 ネットワークの構成機関が周知活動、事業承継診断を集中的に実施。

事業概要

【目的】

AI、IoTといった「第4次産業革命」の最新技術を取り入れ、地域経済の成長・発展及び様々な社会課題の解決を目指す。

【5年間の主な取組】

- 各県におけるSociety 5.0に係る説明会等の実施、情報の共有。
- 九州各県の第4次産業革命技術を活用した事業を取りまとめた事例集の作成。
- 九州各県が連携して、広域的に実施すべき分野を特定し、具体的な取組みを実施。

【Ⅱ. 新技術PT】

～先端技術・新産業への挑戦～

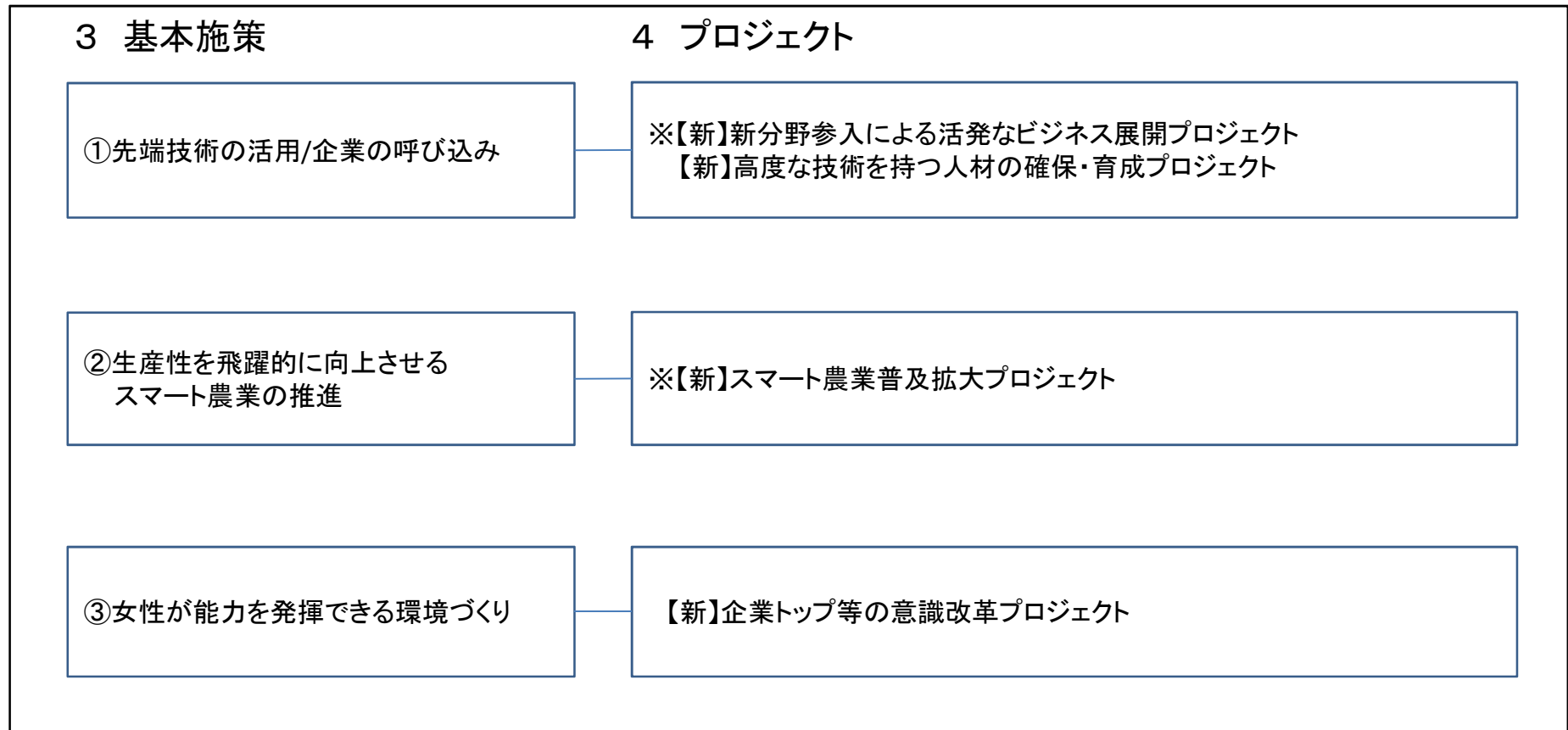


PTリーダー： 三反園鹿児島県知事

サブリーダー： 小川福岡県知事, 金子九経連副会長

1 基本方針	九州・山口地域の各種産業の更なる発展を実現するため、地域の強みを生かしつつ、地域課題の解決に向けて、イノベーションの創出と先端技術を活用した産業の振興に取り組む。
--------	---

2 目指す成果	①新分野参入の事業所数〇件 ②スマート農業技術の普及率〇%以上
---------	------------------------------------



5 新規・重点プロジェクト

新分野参入による活発なビジネス展開プロジェクト

<基本施策① 先端技術の活用/企業の呼び込み>

KPI(重要業績評価指標)
①製品・サービスの研究開発等の事業数 (現 状:○件) (5年後の目標 :○件) ※研究開発・実証・販路開拓等の事業数(新分野参入、技術活用)

事業概要
【目的】 中小企業等の新たな分野への挑戦、独自技術や先端技術を用いた新産業の創出により、産業の活力維持及び活発なビジネス展開を図る。
【5年間の主な取組】 <ul style="list-style-type: none">・ 新成長分野(環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空宇宙産業等)など新たな分野への参入<ul style="list-style-type: none">①国内外の展示会・商談会への出展②新分野参入を目指す研究開発等の支援・ 独自の技術や先端技術(IoT、AI、ビッグデータ等)を活用した新産業の創出<ul style="list-style-type: none">①新産業創出を目指す研究開発等の支援②地域課題解決に向けたビジネスマッチング等の促進

スマート農業普及拡大プロジェクト

<基本施策② 生産性を飛躍的に向上させるスマート農業の推進>

KPI(重要業績評価指標)
②スマート農業技術の普及率 (現 状:スマート農業技術の普及率 ○%) (5年後の目標:スマート農業技術の普及率 ○%以上) 【主なスマート農業技術と指標】 <ul style="list-style-type: none">・ 農業用ドローンの導入面積割合(導入面積/水田面積)・ 施設環境制御装置の導入面積割合(導入面積/施設面積)・ 発情発見・分娩監視システムの導入戸数割合 (導入戸数/肉用牛担い手戸数) ※各県調査、作物統計、センサス等を活用して普及率を計算

事業概要
【目的】 労働力不足や農業後継者への技術継承、中山間地域農業の維持・発展等の課題を解決するため、スマート農業の普及拡大を図り、稼げる農業の実現を目指す。
【5年間の主な取組】 <ul style="list-style-type: none">・ 4つの柱<ul style="list-style-type: none">①広大な畑地・水田を活用した大規模農業の実現②超省力・高生産畜産経営の実現③作物の能力を最大限に発揮する施設園芸の実現④中山間地域等の条件不利地における持続的農業の実現・ 取組の展開<ul style="list-style-type: none">①推進大会や研修会等による理解促進②実証活動等を活用した普及拡大③スマート農業機械等の整備支援 等

Ⅲ. 人材活躍PT

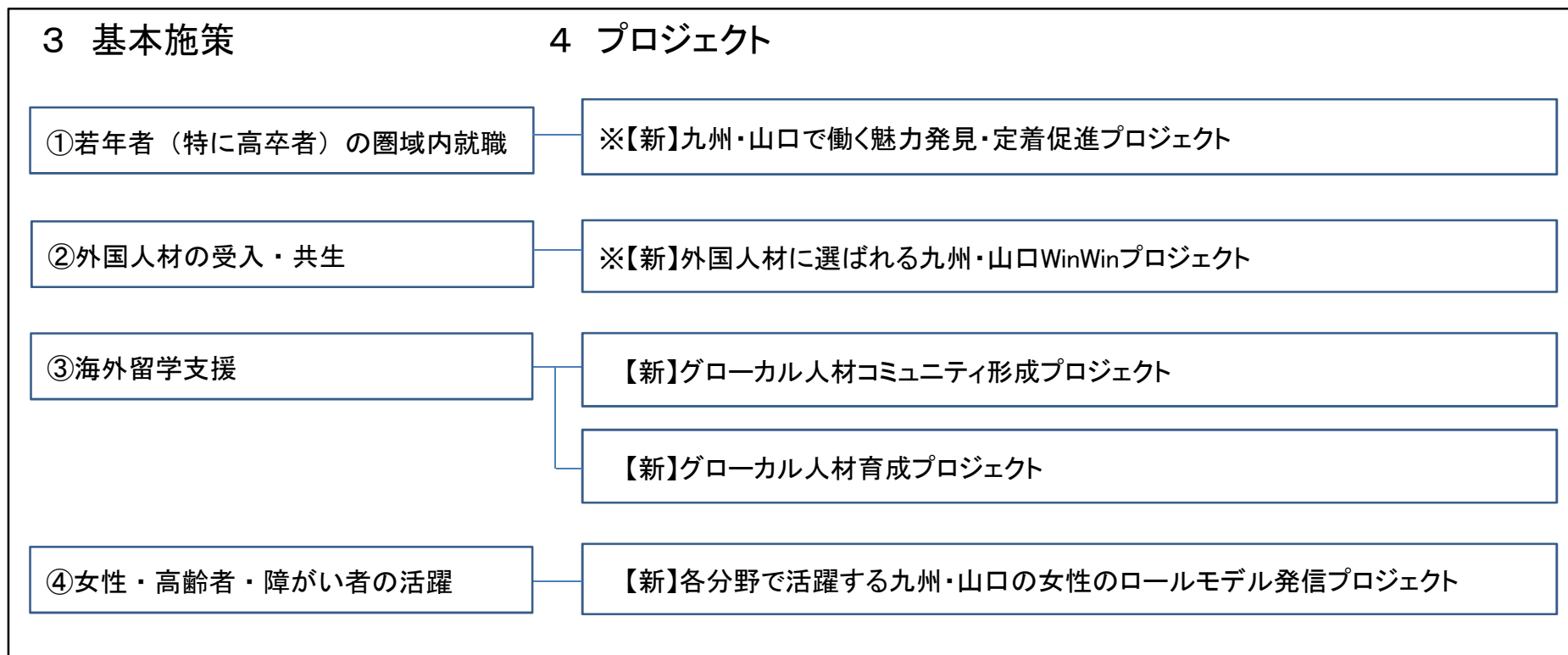
～多様な人材の活躍・活用～



PTリーダー：蒲島熊本県知事
サブリーダー：麻生九経連会長

1 基本方針	九州・山口地域が持つ様々な強み・ポテンシャルを最大限に活かしながら、若者、外国人、女性、高齢者・障がい者など、誰もが居場所と役割を持ち、活躍・活用できる地域社会の実現に官民一体で取り組む。
--------	--

2 目指す成果	①高卒就職者の圏域内就職率の向上 ※現状(H31.3卒):67.1% ②外国人雇用事業所数の増(調整中) ※現状(H30.10末):18,252事業所
---------	--



5 新規・重点プロジェクト

九州・山口で働く魅力発見・定着促進プロジェクト

< 基本施策① 若年者(特に高卒者)の圏域内就職 >

KPI (重要業績評価指標)

- ①高卒就職者の九州・山口圏域内就職率の向上
(現 状 : 67.1% (H31.3卒))
(5年後の目標 : 70.0% (R7.3卒))

事業概要

【目的】

高卒就職希望者の圏域内への就職を促進するため、保護者も含めて、地元企業に対する理解を深めるとともに、圏域外転出者のUIターン等の様々な機会を創出する。

【5年間の主な取組】

- 若年者へのきめ細かな企業情報の提供、労働環境整備
(1) 企業の労働環境改善・整備の推進、企業情報の発信
(事例集の作成、企業向けセミナーの開催、労働環境整備に係る支援制度の周知徹底 等)
- キャリア教育の更なる推進(高校生と保護者)
(1) 企業を「直接、知る機会」の設置
(九州・山口圏域内企業へのバスツアーの実施 等)
- セカンドチャンスを含めたUIターン就職促進
(1) 圏域外の早期離職者に対するセカンドチャンスを含めたUIターンの促進
(2) 九州・山口地域で働くことの魅力(魅力的な企業、都市圏と比較した暮らしやすさ等)をPRする機会創出
(首都圏等での就職相談会の開催、就職関連情報発信)

外国人材に選ばれる九州・山口WinWinプロジェクト

< 基本施策② 外国人材の受入・共生 >

KPI (重要業績評価指標)

- ①九州・山口地域の外国人雇用事業所数 調整中
(現 状 : 18, 252事業所 (H30.10月末現在))
(5年後の目標 : ●●●●事業所)

事業概要

【目的】

優秀な外国人材の確保、定着を図るため、受入環境の整備や多文化共生への意識醸成を推進し、外国人材に選ばれる地域を目指す。

【5年間の主な取組】

- 企業の魅力発信、外国人材受入れ環境の整備
(1) 「外国人労働者が働きやすい企業」の事例集の作成
(2) 企業啓発、魅力発信
(セミナー開催、優良事例紹介、ターゲットとする外国人材に応じたアプローチ 等)
- 住みよい地域に向けた連携、多文化共生への意識醸成
(1) 多文化共生推進月間の設定と関連事業の実施
(2) 地域日本語教育等の優良事例の共有
(モデル事業紹介、各県HP掲載、市町村への提供)
(3) 関係団体(地域国際化協会等)との連携推進
(災害発生時の外国人支援に係る人員派遣 等)

IV. 次世代育成PT



PTリーダー：山口佐賀県知事
サブリーダー：貫九同友代表委員

～若い世代の結婚・出産・子育て・教育～

1 基本方針	若者が結婚や子育てに希望を持ち、安心して子どもを産み育てられるよう、出会いの場の創出、妊娠・出産・子育てをしやすい環境づくり及び未来に繋がる子どもの育成に社会全体で取り組む。
2 目指す成果	九州・山口の合計特殊出生率の更なる増加（直近：1.63 [H30人口動態調査概数]）
3 基本施策	4 プロジェクト
①広域婚活支援(仮称)	※【一部新規】出会い結婚応援プロジェクト(仮称) (具体案) 企業間・異業種間婚活の推進、大学生等へのライフデザインセミナーの開催等
②家庭の歩みを応援(仮称)	※【新】妊娠・出産・子育て応援プロジェクト(仮称) (具体案) 夫の家事・育児促進、夫の育児休暇取得促進、女性のがん検診受診率増、不妊・不育対策、多胎児・多子世帯応援、SNS等を活用した子育て情報発信等
③未来に繋がる子どもの育成(仮称)	【新】子どもの本物体験促進プロジェクト(仮称) (具体案) 地元愛を育む体験活動の推進、「新たな学び」の提供(Skype等の活用によるネイティブとの英会話)等
④女性の応援・活躍(再掲)	※上記2の再掲 【新規】妊娠・出産・子育て応援プロジェクト(仮称) (具体案) 夫の育児休暇取得促進、女性のがん検診受診率増

5 新規・重点プロジェクト

出会い結婚応援プロジェクト(仮称)

<基本施策① 広域婚活支援(仮称)>

KPI(重要業績評価指標)

①出会い結婚応援企業・団体数

(現 状 : 2,857企業)
(5年後の目標 : 現状の3倍)

※上記以外のKPIは、今後の議論を踏まえ設定予定

事業概要

【目的】

これまでの出産等PTにおける取組を拡大し、より多くの様々な企業・団体が担い手となり、社会全体で結婚を応援する機運を高める。

【5年間の主な取組】

- ・多様なニーズに応じた企業間・異業種間婚活の推進
- ・出会い応援企業・団体をさらに増やし、当該団体等による取組が推進されるよう支援
- ・大学生等向けのライフデザインセミナーの開催

妊娠・出産・子育て応援プロジェクト(仮称)

<基本施策② 家庭の歩みを応援(仮称)>

KPI(重要業績評価指標)

②6歳未満の子がいる男性の家事・育児時間の増

(現 状 : 9.45時間/週)
(5年後の目標 : 21時間/週)

※上記以外のKPIは、今後の議論を踏まえ設定予定

事業概要

【目的】

これまでの出産等PTにおいて十分には取組を行っていなかった新たな分野にも力を入れ、妊娠・出産・子育てをしやすい環境づくりを行い、家庭の歩みを社会全体で応援する。

【5年間の主な取組】

- ・夫の家事・育児時間の増(カジメン・イクメンを増やし、新たな九州男児のイメージを確立)
- ・妊娠の希望を叶えるための不妊・不育症に対する理解促進のための普及啓発
- ・多子世帯の経済的負担軽減のため、子育て応援の店を活用した多子世帯応援
- ・子育て情報発信の充実

V. 地域づくりPT

～選ばれる地域づくり～



PTリーダー：中村長崎県知事

サブリーダー：河野宮崎県知事、石原九経連副会長

1 基本方針	九州・山口地域における地域資源を活用し、また、地域の魅力を発信することで、地域外の者から移住・訪問先等として選ばれる地域となることを目指し、官民一体となった取組を行う。
2 目指す成果	①九州・山口合同移住相談会の参加人数の増 ②空港間連携によるインバウンド受入の拡大
<h3>3 基本施策</h3> <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="237 647 810 730">①移住対策<li data-bbox="237 778 810 861">②小さな拠点、ネットワークコミュニティの構築<li data-bbox="237 909 810 992">③文化・スポーツ資源の有効活用<li data-bbox="237 1040 810 1123">④温泉資源の有効活用<li data-bbox="237 1171 810 1254">⑤空港連携<li data-bbox="237 1302 810 1385">⑥女性の移住推進PR(再掲)	<h3>4 プロジェクト</h3> <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="882 632 1993 740">※【新】九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト<li data-bbox="882 775 1993 884">・ 小さな拠点とネットワークコミュニティ構築に向けた担い手確保プロジェクト<li data-bbox="882 919 1993 1027">【新】スポーツツーリズムによる地域活性化プロジェクト 【新】文化資源の誘客活用プロジェクト<li data-bbox="882 1062 1993 1171">【新】温泉の更なる活性化プロジェクト<li data-bbox="882 1206 1993 1315">※【新】インバウンドの受入拡大に向けた空港連携プロジェクト<li data-bbox="882 1350 1993 1458"><再掲>九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト (女性の先輩移住者による地域の暮らしやすさなど移住促進にかかるメディアジャック等)

5 新規・重点プロジェクト

九州・山口が一体となった移住促進プロジェクト

< 基本施策① 移住対策 >

K P I (重要業績評価指標)

①九州・山口合同移住相談会の参加人数(2回合計値)

(現 状 : R元年度 358人)

(5年後の目標 : R6年度 550人)

事業概要

【目的】

東京・大阪での移住相談会の開催や女性視点も踏まえたイメージ戦略により、九州・山口地域の魅力を発信することで、九州・山口地域への移住を推進する。

【5年間の主な取組】

- ・東京・大阪での九州・山口合同移住相談会の開催
(漠然層に加えて、地域の担い手となる協力隊や集落支援員など、ターゲットを絞った相談会の実施)
- ・東京・大阪での女性視点も踏まえたイメージ戦略
(相談会告知等)

《例》

- 女性の先輩移住者による地域の暮らしやすさなど移住促進にかかるメディアジャック
- 「温暖な気候」「アジアに近接」など九州一体の特徴をアピール

インバウンドの受入拡大に向けた空港連携プロジェクト

< 基本施策⑤ 空港連携 >

K P I (重要業績評価指標)

※今後の議論を踏まえて設定

事業概要

【目的】

福岡空港は過密である一方、他空港は受入の余地がある中、空港間連携を促進することで、インバウンドの拡大を図り、第二期九州観光戦略の目標「訪日外国人数786万人」の達成に寄与する。

【5年間の主な取組】

1. 短期的取組 (九州観光推進機構とも連携)
 - (1) 広域周遊商品造成の働きかけなど空港間のイン・アウト連携
 - (2) 同じ航空会社が就航している空港間の連携による共同観光プロモーション
2. 中・長期的研究課題
 - (1) 空港間・地域間連携、広域周遊コース造成を推進するための空港・地域間アクセスの向上の研究

VI. 安心・安全PT

～安心な暮らしを守る社会システム～



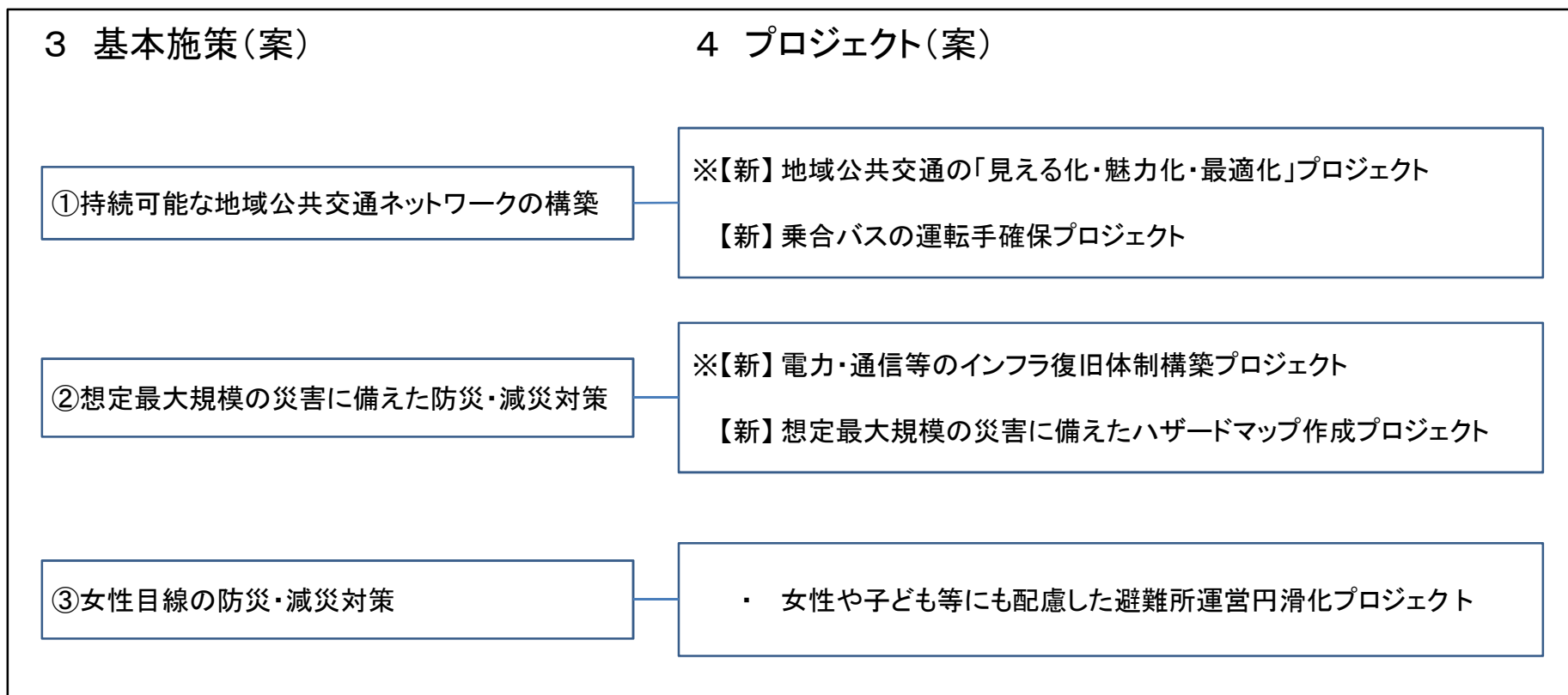
PTリーダー：河野宮崎県知事

サブリーダー：中村長崎県知事

竹島九経協会長、小澤九経連理事

1 基本方針(案)	九州・山口地域における安心・安全な暮らしを守るため、高齢化・人口減少時代に対応した持続可能な地域公共交通ネットワークを構築するとともに、自然災害の激甚化に備えた防災・減災対策を推進し、官民一体となった取組を行う。
-----------	--

2 目指す成果(案)	①乗合バスの輸送人員 … (目標) 528,800千人 ②電力・通信等インフラ事業者との災害復旧連携体制の構築 … (目標) 協定締結
------------	--



5 新規・重点プロジェクト

地域公共交通の「見える化・魅力化・最適化」プロジェクト

<基本施策1 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築>

KPI (重要業績評価指標)

①乗合バスの輸送人員

(現 状 : 513,457千人(H29))

(5年後の目標 : 528,800千人(R 4))

事業概要

【目的】

乗合バスなど地域公共交通の利用者に向け、運行情報の「見える化」や、乗り物としてのバスや鉄道のPRを通じた「魅力化」により利用を促進するとともに、新技術や既存輸送資源の活用による「最適化」を図ることで、地域公共交通ネットワークの維持・確保を図る。

【5年間の主な取組】

①「見える化」

- ・GTFS-JPデータ等整備促進(合同研修開催等)
- ・案内表示・サイン事例集(表示モデル)の作成

②「魅力化」

・メディア・エージェント・FIT等に向けた観光情報と「バスや鉄道の魅力」の一体的なPR(九州観光推進機構等との連携)

③「最適化」

・新モビリティサービス(MaaS・新型輸送サービス)や、貨客混載等輸送サービスの「シェア」の導入・普及促進に向けた調査研究

電力・通信等のインフラ復旧体制構築プロジェクト

<基本施策2 想定最大規模の災害に備えた防災・減災対策>

KPI (重要業績評価指標)

①インフラ事業者との災害復旧連携体制の構築

(現 状 : なし)

(5年後の目標 : 協定締結)

事業概要

【目的】

災害発生時に官民が一体となって協力・連携し、電力・通信等障害の早期復旧を目指す。

【5年間の主な取組】

九州各県と経済界との間で災害復旧に係る連携について協議を進め、実施可能なものから協定締結等を行う。

- ・電力・通信等インフラ復旧に関する連携
- ・人材、資機材等の輸送手段の確保
- ・復旧作業に要する施設や場所の確保 等

九州創生戦略(しごとの場づくりPT)

次期九州創生戦略(魅力的なしごと・働き方PT)

1. 東京一極集中是正の受け皿づくりとしての域内条件整備方策

プロジェクト名	これまでの成果	課題、社会情勢の変化
九州・山口ふるさと若者就職促進プロジェクト	・東京圏等の大学生を対象としたインターンシップ及び大学生・社会人を対象とした合同会社説明会を実施。 【目標】企業への就職者数累計320人 → 270人	・ターゲットの見直し、費用対効果の高い取組みの検討。
九州・山口発ベンチャー支援プラットフォーム構築プロジェクト	・ビジネスプラン発表や商談会を実施。 【目標】創業者数2,700者/年 → 5,017者/年 商談成約率50% → 28.6%	・九州・山口ベンチャーマーケットに参加した事業者のメリットの充実。
「九州・山口大産業展」プロジェクト	・これまで単独で開催している農林水産物やモノづくりの展示会、商談会を時期(10月)を合わせて開催。	・高齢化が進む中小企業経営者に対する速やかな世代交代の着手。

創業・事業承継の推進

プロジェクト名	主な取組(案)
	・「多様な人材の活躍・活用PT」(熊本県がPTリーダー)において実施予定。
九州・山口発ベンチャー支援プラットフォーム構築プロジェクト	・KVM参加企業の事業拡大支援や資金調達支援の充実。 ・全国規模のビジネスマッチングイベントへの招待。
① 事業承継円滑化プロジェクト	・各県独自の取組みや効果的な取組を集約し情報共有。 ・事業承継支援の「集中実施期間」を設定。

2. 農工商連携や6次産業化による高付加価値化や輸出拡大

プロジェクト名	これまでの成果	課題、社会情勢の変化
九州・山口輸出体制づくりプロジェクト	・各県共同での販売促進フェアや国際的に開催される商談会への参加働き掛けを実施。 【目標】海外商談会への参加企業数80社/年 → 210社/年	・海外での九州・山口県産の農林水産物・食品に対する認知不足、及び、更なる輸出拡大の方策の検討。
九州・山口農工商連携・6次産業化推進プロジェクト	・各県共同での販売促進フェアや国際的に開催される商談会への参加働き掛けを実施。 【目標】各県が連携して出展する商談会等における商談成立件数60社/年 → 154件/年	

農林水産物の輸出拡大

プロジェクト名	主な取組(案)
海外における九州・山口県産農林水産物のブランドづくりプロジェクト	・主にアジアを対象として、現地でPRや販売促進を行い、認知度向上を図る。

3. 外国人観光客の消費拡大の仕組みづくり

プロジェクト名	これまでの成果	課題、社会状況の変化
外国人誘客促進共同プロモーション、九州・山口サイクルツーリズム推進プロジェクト	・欧米豪向けや東アジア向け等、国・地域別のプロモーションを実施。 【目標】訪日外国人786万人 → 511.6万人	・九州への訪日外国人数の伸び率の鈍化。
観光フリーパス魅力アップ海外向け共同プロモーション	・九州内のバスをを定額で利用できる観光フリーパスの販売促進支援を実施。 【目標】48.9万枚 → 40.8万枚	・観光関連産業の人材確保・生産性向上。 ・訪日外国人への対応力の向上。
観光アプリ活用多言語対応・無料公衆無線LAN整備促進プロジェクト	・無料Wi-Fiスポットを設置 【目標】1.5万か所 → 1.5万か所	・海外における九州のブランドイメージの弱さ(特に欧米豪)。 ・観光消費額の伸び悩み。

インバウンド対策の推進

プロジェクト名	主な取組(案)
外国人観光客の来訪促進プロジェクト	・九州の特色を生かした観光素材の磨き上げ。 ・九州・山口サイクルツーリズムの推進。 ・影響力のあるメディアやSNS等を利用した情報発信の実施。
① 外国人観光客の受入に係る人的基盤整備プロジェクト	・通訳ガイドや有料ガイド等のスキルアップ及び活用促進。 ・生産性向上やおもてなし向上に向けた研修等の実施。
① 「KYUSHU」のブランド力向上プロジェクト	・各県・地域と連携した、観光情報・記事・写真等の充実。 ・市場別のマーケティング調査・統計等を通じたブランドイメージ戦略の策定及び実施。
① 外国人観光客の滞在・消費促進プロジェクト	・滞在時間延長につながる地型観光商品の開発及び活用促進。

4. 九州の統一ロゴマークの作成・活用

プロジェクト名	これまでの成果	課題、社会情勢の変化
九州ロゴマーク活用推進プロジェクト	・平成30年5月に発表した九州ロゴマークを九州各県や官民が連携して取り組む事業で活用。 【目標】29事業 → 24事業	・民間企業や団体による積極的な活用。

九州ロゴマークの活用推進

プロジェクト名	主な取組(案)
九州ロゴマーク活用推進プロジェクト	・知事会・戦略会議の取組での活用に加え、民間企業・団体による活用を推進。

5. 魅力ある職場づくりの推進

プロジェクト名	これまでの成果	課題、社会情勢の変化
魅力ある職場づくりの推進プロジェクト	・働き方改革のすそ野を広げるため、気運醸成の取組みとして先進企業の表彰や経営者セミナー等を実施。 【目標】各県の働き方改革事業参加事業所数 4,000事業所 → H30 3,414事業所 RI 2,766事業所(9月末現在)	・機運醸成の取組みは一定程度進展。今後は実践の取組みへの移行。 ・女性が働きやすい仕事環境づくりの取組み強化。

働き方改革の推進

プロジェクト名	主な取組(案)
九州・山口働き方改革推進プロジェクト(女性が働きやすい仕事環境)	・個別企業に対するアドバイザー派遣やコンサルティングの実施。 ・女性が働きやすい仕事環境を整えるため、企業や従業員に仕事と生活の調和意識を醸成。特に、男性の働き方・意識の変革を進めるための普及啓発を実施。

・少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少による経済規模の縮小、労働力不足が深刻化。
・一方、IoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータといった新たなICT技術が進展。これら技術により、魅力ある職場づくりの定着や生産性向上の実現が期待。

Society5.0の実現

プロジェクト名	主な取組(案)
① 第4次産業革命技術活用推進プロジェクト	・Society5.0を実現する上での課題洗い出し、情報共有、説明会開催。 ・最新技術の活用事例をとりまとめた事例集作成。 ・課題や事例の中から各県または各県で連携して取り組める施策検討。